

中間評価に対する意見

滋賀県公共事業評価監視委員会

番号	計画名	滋賀県における集中的な総合的治水対策の推進 (防災・安全)(重点)	事業主体	滋賀県
			施行箇所	栗東市 他
(意見)				
○事業の進捗状況について 河川整備について、合計 2,200m の区間で整備が完了する見込みであることを確認した。				
○事業効果の発現状況について 河川整備の進捗が図られ河川の流下能力が向上したことにより、安心安全な県民生活の実現に寄与したことを確認した。				
○評価指標の目標値の実現状況 整備目標の規模による河川整備延長について、中間目標値 2,080m に対し、実績見込み値 2,200m となっており、中間目標値を達成する見込みであることを確認した。 想定される床上浸水被害が解消される面積について、中間目標値 0ha に対し、実績見込み値 0ha となっているが、今後の整備進捗により最終目標値は達成できる見込みであることを確認した。				
○事後評価を行うための主要な事業の選定について 選定要件を満たす事業の内、金勝川河川改修事業を選定した。				

中間評価に対する意見

滋賀県公共事業評価監視委員会

番号	計画名	滋賀県における総合的治水対策の推進（防災・安全）	事業主体	滋賀県
			施行箇所	大津市 他
<p>（意見）</p> <p>○事業の進捗状況について</p> <p>河川整備について、合計 150m の区間で整備が完了する見込みであることを確認した。</p> <p>情報提供システムについて、合計 7 項目の機能向上が完了する見込みであることを確認した。</p> <p>水害に強い地域づくりについて、合計 18 地区の浸水警戒区域の指定が完了する見込みであることを確認した。</p> <p>○事業効果の発現状況について</p> <p>河川整備の進捗が図られ河川の流下能力が向上したこと、情報提供システムの機能向上が進んだこと、浸水警戒区域の指定地区数が増加したことにより、安心安全な県民生活の実現に寄与したことを確認した。</p> <p>○評価指標の目標値の実現状況</p> <p>整備目標の規模による河川整備延長について、用地取得や関係機関との調整の難航により、中間目標値 600m に対し、実績見込み値 150m となっており、中間目標値を達成しない見込みであるが、今後の整備進捗により最終目標値は達成できる見込みであることを確認した。</p> <p>情報提供システムの機能向上項目数について、中間目標値 6 項目に対し、実績見込み値 7 項目となっており、中間目標値を達成する見込みであることを確認した。</p> <p>浸水警戒区域指定地区数（累計）について、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、中間目標値 20 地区に対し、実績見込み値 18 地区となっており、中間目標値を達成しない見込みであるが、今後の指定進捗により最終目標値は達成できる見込みであることを確認した。</p> <p>洪水浸水想定区域指定対象の一級河川洪水浸水想定区域図の作成率について、中間目標値 3% に対し、実績見込み値 3% となっているが、今後の作成進捗により最終目標値は達成できる見込みであることを確認した。</p> <p>○事後評価を行うための主要な事業の選定について</p> <p>選定要件を満たす事業の内、北川河川改修事業を選定した。</p>				